

臨床における コミュニケーションでの分析と治療適応まで

認知神経リハビリテーションの規範に基づいた
言語的・非言語的にかかわりについて



青磁野リハビリテーション病院

Seijino Rehabilitation Hospital

作業療法士

Occupational Therapist

宮城大介

Daisuke Miyagi

臨床におけるコミュニケーションでの分析と治療応用まで

～認知神経リハビリテーションの規範に基づいた言語的・非言語的について～

「開催日」

Mano オンラインセミナー 2023.10.13(金)19:30~21:30

参加費：1200 円（ホームページから申込の方のみ）

ホームページからの申し込みはこちら

<https://rehamano.com/nintisinkei/>



note からの申し込みはこちら

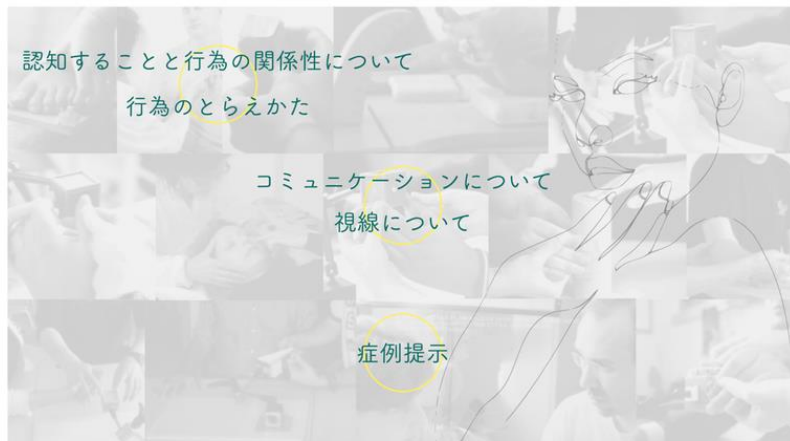
<https://note.com/rehamano2018/n/naa583339923a>



ホームページからお申し込みが 300 円お得となっています！！

「講義の流れ」

今日のながれ



2023.10.13 (Fri)

「講義内容」

今回の講義では、認知神経リハビリテーションにおける患者の病態を
“みる”
ための分析のあり方を紐解いていきます。

みるためのかわりとしてのコミュニケーションを
単なる会話ではなく、対話として捉え
患者の表現するしぐさやことばと

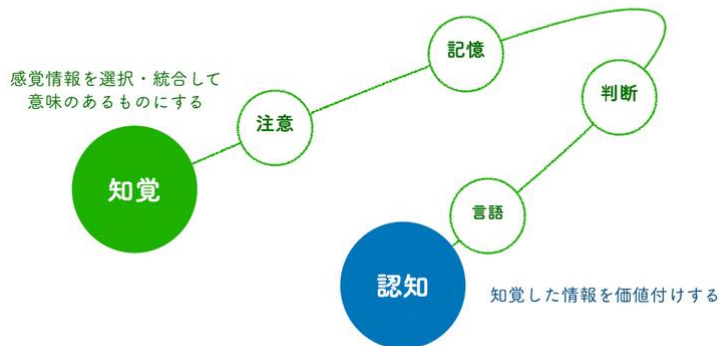
疾患特性に基づくそれらの症状との関連性の有無を探り

どのように考え
どのように問いかけ
どのように関わるか

一緒に考えるひとときをしたいと思います。

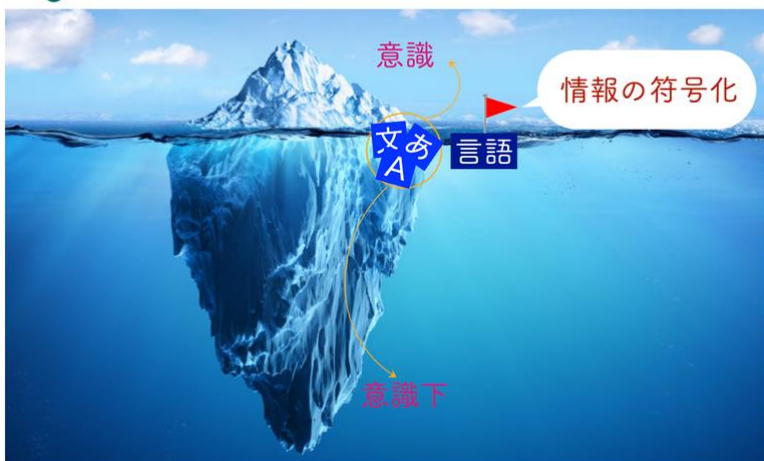
2023.10.13 (Fri)

・行為とは



2023.10.13 (Fri)

・認知と行為



2023.10.13 (Fri)

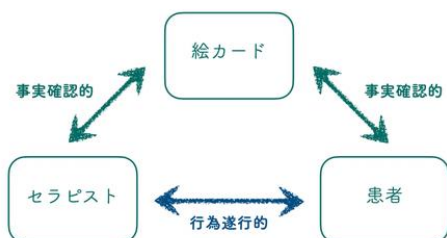
- ・情報を言語化させることの意味
- ・ことばとはなにか
- ・言葉を扱うための関係性について
- ・二人称という視点
- ・外言と内言
- ・コミュニケーション深化に向けて
- ・非言語として外言



- ・視線コミュニケーションの発達について
- ・視線の発達と脳
- ・視線の経路について
- ・視線と注意について
- ・自己から他者へ
- ・三項関係から心の理論へ
- ・認知神経リハビリテーションにおける失語症介入

認知神経リハビリテーションにおける失語症介入

三項関係の形成



- ・症例提示

今回は青磁野リハビリテーション病院で作業療法士をされております宮城大介先生に認知神経リハビリテーションの観点を踏まえながら「コミュニケーション」をテーマにご講義いただきます。

そもそも認知とはどういったものかという神経学的な話から、症例提示を通して実際の臨床でどういった観点をコミュニケーションを行っていけばよいか、評価・治療まで丁寧に説明してくださいます。

手技だけが介入ではない、関わり方が患者様を改善していくことがある。そんな大事なことを教えて頂けるセミナーとなっているため、若手からベテランまで年齢問わず是非受講して頂きたいです。

「講師紹介」

○講師

宮城大介先生：青磁野リハビリテーション病院 作業療法士



略歴

沖縄リハビリテーション福祉学院作業療法学科卒業

2000 年 熊木機能病院入職

2011 年 青磁野リハビリテーション病院入職 現在に至る

日本認知神経リハビリテーション学会代議員

九州認知神経リハビリテーション勉強会監事

熊本認知神経リハビリテーション研究会運営メンバー



宮城先生のご紹介

Mano で開催した「上肢フェス」でご登壇いただきました宮城先生が今回、講師としてご登壇いただきます

宮城先生は、大分の男塾の児玉先生のご紹介でご出演していただきました。

当時の講師の中でも認知神経リハビリの分野で、目に見えない脳のことを整理しながら、上肢機能について解説していただきました

神経回路などはとても複雑で、どう落とし込んでいいのかわからない。

そんな難しいことをわかりやすく1から教えていただきました。

受講生からもセミナー後のアンケートでも若手の先生から苦手意識が変わったなどのコメントをいただきました。

講義の中では、すごく真面目で臨床に直向きな方なんだろうなあと感じていました。

ある時、熊本に仕事で行く機会があり宮城先生にご連絡をすると熊本までわざわざ空港に会いにきてくれる。

情にも熱い先生で、人間としてすごく素敵な先生と思い川下は惚れました。

そんな絶大な信頼をおく先生だからこそ、今回は難題であるお題で無茶を承知でご依頼させていただき、二つ返事で承を頂きました。

今回は認知することと行為に着目し、行為の意図などで出現する視線、そしてコミュニケーションについて教えていただく機会をいただきました。

皆様こんな機会を今後作れるかはわかりません。

是非、全国各地からお申し込みお待ちしております！！！！